

みんなではじめよう! 野菜づくり!

アグリライフ支援センターでは、皆さんが「農」を楽しむ拠点として、気軽に野菜づくりを体験できる講座を実施しています。初めての人も大歓迎!一緒に野菜づくりを始めませんか?



春夏野菜づくりの流れ ※令和3年度野菜づくり入門コース参考。

4月

- 区割りと肥料散布・耕運
- 苗の植付・種まき

5月

- 背の高くなる野菜に杭打ちや支柱を設置
- 追肥、土寄せ、間引き、わき芽かき等の野菜管理
- 座学「土づくり」「病害虫防除と農薬」等
- 管理機の耕運操作、周辺の除草等の環境整備

6月

- 整枝、追肥等の野菜管理
- 座学「肥料と肥料設計」等

7月

- スイカ、トマト、キュウリ、ナス、ピーマン、スイートコーン等を収穫

8月

- 収穫し終えた野菜の片づけ、整地
- たい肥散布、耕運

同センターで実施している野菜づくりの様子を市HP(右記QRコード参照)に掲載しています



講師紹介

藤井和弘さん



農業高等学校の農業教員を経て、現在は同センターで「農」の魅力を発信している藤井さん。長年培ったノウハウを生かし、経験者・初心者問わずそれぞれのレベルに合わせて丁寧に野菜作りを教えてください。講座終了後のフォロー指導もあるので気軽に安心して野菜づくりが始められますよ。

野菜づくりでは何が大切ですか?

土づくりが非常に大切です。野菜は畑の表面に出ているのは一部分で、その下には皆さんが思っているよりも広い範囲で根を張っています。そして根の切れ端等の有機物を微生物が食べ土が育ちます。良い環境の土でのびのび育った野菜は、えぐみがなくとても美味しいんです。百聞は一見に如かず、このセンターではそういったことを実際に見て、感じてもらいたいです。

皆さんとても楽しそうに受講されていますね。講座を受講された皆さんが「農」に興味を持ち、独り立ちされたり、自分の作った野菜を見に来てくださいという言葉ももらったりした時はとても嬉しいですね。

「野菜づくり入門コース」受講生の声



鈴木英彦さん (桜井町)

両親が持っていた畑を、退職後に1年程世話をしていましたが思うように野菜が育ちませんでした。知り合いに紹介してもらったのをきっかけに春夏コースを受講。基本的なことをしっかり教えてもらい、失敗の原因が分かりました。学んだことを応用し、自分に合ったやり方で野菜を育てています。今までやったことのないことにも挑戦する、そうして育てた野菜の味は格別です。

広報紙を見て春夏コースに参加、全くの初心者でした。最初はとにかく先生の言うとおりに真似てやっていましたが、ある日ナスの苗をいただいて、自宅のプランターで育ててみると、しっかり実がなり味もおいしくて感動しました。また、ズッキーニの成長のスピードに驚いたり、虫のとり方を学んだり、実際に野菜を作ってみないと知ることのできないことがたくさんありました。日々発見、とても面白いです。



岩月あけみさん (住吉町)



野菜づくり講座の受講生募集

	第26期野菜づくり入門コース(春夏野菜)	一坪農園 春夏野菜づくり
日程	開講式▶4月5日(火) 研修期間▶4月7日(木)~8月3日(水)(原則(火)(木)又は(水)(金)の週2回)午前9時~正午 閉講式▶8月5日(金)	4月16日(土)・30日(土)、5月14日(土)・28日(土)、6月11日(土)・25日(土)、7月30日(土)午前9時30分から1時間程度(全7回) ※4月16日は午前11時終了予定。5月14日は午後1時30分開始予定。 ※収穫の時期は上記以外にも週2~3日収穫作業有。
内容	割り当てられた1人1区画の畑(約30㎡)での春夏野菜の栽培、座学、農業関連施設の視察、調理実習等(これから野菜づくりを始めたい人向けの基礎から学べる講座です)	3㎡程度の畑での春夏野菜の植付・管理・収穫の作業(野菜づくり初心者でも楽しめる講座です)
作る野菜	スイカ、ナス、トマト、ピーマン、スイートコーン、キュウリ、エダマメ等	ミニトマト、ナス、ピーマン、キュウリ等7品目程度
対象	市内在住で畑の管理作業等ができる健康な人	
定員	18人程度(定員を超えた場合は抽選)	22組(定員を超えた場合は抽選)
参加費	1万5000円(苗・肥料代、保険料込)	1組1500円
申込期限	2月20日(日)	
申込み方法	受講申請書を持参か郵送(必着)でアグリライフ支援センターへ。募集要項・申込書は同センター・農務課・各地区公民館・市HPで配布 ※右記QRコードからも申込み可。	電話・郵送(必着)・ファクス・Eメールで、代表者の住所・氏名・電話番号・Eメールアドレス、参加人数(大人・子どもの人数)をアグリライフ支援センターへ。 ※右記QRコードからも申込み可。
場所・申込み・問合せ先	アグリライフ支援センター / 〒444-1201石井町辻原131-2 / ☎(92)6200 / FAX(92)6122 / agrilife@city.anjo.lg.jp	

※農具・資材はセンターのものを使用します。
※いずれの講座も天候や野菜の育成状況により日程を変更する場合があります。